



未来に責任

「少しずつでも未来のために今やるべきことを」

1年前、2年前に提案したのも少しずつ進み始めました。部署をこえてのコスト削減や、塩漬け土地の整理など。特定の地域・団体の利益代弁者になるのではなく、未来のために今からやるべきことを提案し続けます。

主に取り組んでいる政策

- 行財政改革全般
- 人事制度・給与制度
- 地域やNPO活動の活性化
- 子育て世代の支援

Contact/連絡先
〒573-8666枚方市大垣内町2-1-20 枚方市役所4階 未来に責任・みんなの会議員控室 ☎070-5651-5832
E-mail : hirakata@kimura-ryota.net HP : http://kimura-ryota.net blog : http://ameblo.jp/kimura-ryota twitter ID : kimura_ryota

木村亮太

- 1984年4月22日 枚方市に生まれる
- 1991年 枚方小学校入学
- 1997年 パンコク日本人学校卒業
- 2000年 枚方中学校卒業
- 2003年 四條畷高校卒業
- 2007年 大阪大学経済学部卒業
- ベンチャー企業を経て、
- 2011年より枚方市議会議員(1期目)
- 現在、若者の政治参加を促す
NPO法人ドットジェイピーの執行役員を務める

未来に責任

Report of the Hirakata Municipal Administration

枚方市 無所属

市政報告06



このチラシは市政調査を目的として発行しています。皆様のご意見をお聞かせください。

Topics

- ICTを活用した新しい行政のありかた
ガバメント2.0 オープンデータ
- 人事給与制度改革
官民の給与格差
メリハリのある給与制度
職員の不祥事防止
- 待機児童解消を積極的に

枚方市議会議員

木村亮太

待機児童解消 既存の公共施設を活用して柔軟な対応を

6月議会からの続きで、最重要課題である待機児童対策について施設の有効活用、空き教室の有効活用の具体的な提案です。

時間がかからず、また今後の少子高齢化社会にも対応しやすい方法として、保育所を新設するのではなく、余裕のある市の施設を活用してはどうかという提案をしておりました。

今回は具体的に、市の施設全体で、延床面積が6割を超えている小・中学校の空き教室の状況は、どのようになっているのかを小・中学校を担当している部署としても待機児童解消についての考え方、また市として空き教室の活用方法はどのように考えているのかを伺いました。

【質問】

その学校の空き教室について、例えば3教室以上空いている学校は、何校あるのか。余裕教室を待機児童対策として活用することについて、教育委員会(担当部署)として連携していく考えはあるのか。

【答弁】

余裕教室数が3教室以上存在する学校は、将来の児童生徒数の見込みも勘案して、小学校で9校、中学校で4校。

また、待機児童対策は市の重要課題であると認識しており、これまでも、連携を図ってきており、今後についても、これまでと同様の考え。

教室の余裕があり、担当部署として連携をしていくというのであれば今から活用すべきでは？

市の見解は残念ながら・・・

平成27年度からの新計画の策定において、今後の待機児童対策を検討していく。だけの消極的な姿勢です。

私の意見

空き教室の活用について、様々な実務的な課題はあれども、空き教室が有り、教育委員会としても連携をしていくという考えであれば、早く実現に向けて進めていくべきです。待機児童については「今の緊急の課題」ですので次の計画から考えるという消極的な姿勢ではなく、もっと積極的な姿勢で今からでも待機児童対策を講じていくべきです。



9月議会

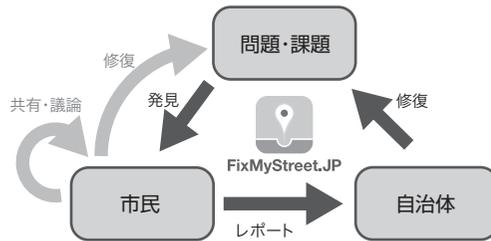
ガバメント2.0の概念と具体的活用について

ガバメント2.0とは

新たな行政のあり方として注目されています。市民が行政からのサービスの受け手から、行政の一員となってサービスの担い手にもなるという概念です。行政は、市民がその仕組みに参加しやすいように、ICTを駆使して、双方向の情報発信環境を整え、情報共有を図ります。このような取組について市の見解を伺いました。

具体的活用について

スマートフォンのアプリ(FixMyStreet)で公共物の損傷等を撮影し、投稿することで、位置情報と共に公開されるものがあります。道路損傷の異常通報のツールとして、このようなアプリを具体的な取組についても市の見解を伺いました。



市の見解

市民自らの責任のもと行動するという市民自治を推進してきたため、本市の趣旨に沿っている。具体的なアプリの活用についてはより多くの情報が集まることは有意義だが、関係各所との調整が課題の1つである。

オープンデータの概念と具体的活用について

オープンデータとは

国や自治体などの地図情報や統計データなどを、機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開し、個人や企業などに利用してもらうことで、住民の力を行政サービスに活かすことや、企業の経営活動に資することができるというものです。

このような取組について市の見解を伺いました。

市の見解

行政の効率化の推進を図るための、一つのツールになり得るものと考えている。具体的なAED設置場所の提供についてはAEDを活用していく上で有効であると考えているので、今後調査研究していく。

具体的活用について

AEDの設置場所を公開することで、救命救急時にいち早く心肺停止者と周辺の協力者と即座につなげ、現場にAEDを届けてもらうためのアプリ(AEDSOS)の活用が可能となります。このような具体的取り組みについても市の見解を伺いました。



給与の官民格差(最大2.17倍)の説明を

下記の表のように、民間と比較して2.17倍もの給与格差のある技能労務職。そのあり方について、以前の質問では「平成25年度中に議論を集結させていく」という答弁でした。しかし、進捗状況を伺うと、もう12月議会の時期にも関わらず、議論が進んでいない部署もありました。真剣に議論をしていただき、この格差について市民への説明責任を果たしていただくこと、また未達成だった前回の行革プランのようにはならないことを求めました。

職種	枚方市職員	民間類似職種	民間との格差	差額
清掃職員	¥6,081,635	¥3,989,200	1.52倍	約200万円
学校給食員	¥5,969,412	¥3,632,000	1.64倍	約230万円
用務員	¥6,201,390	¥2,861,400	2.17倍	約330万円
自動車運転手	¥6,310,335	¥3,560,500	1.77倍	約270万円

※枚方市人事行政の運営等の状況の公表平成24年度より

メリハリのある給与制度を

頑張った職員が報われるよう、「勤務評価を給与に反映すべき」という提案です。平成24年12月議会で「平成25年度から実施予定」という答弁でした。しかし、平成25年度は実施されませんでした。今議会において、再度いつから実施するのかを再確認したところ、「平成26年度から」とのことでしたので、2年連続で議会での答弁が守られないということがないように要望をしました。

■総合評価制度の給与反映実施状況

管理職	部長クラス	平成13年度から実施
	次長クラス	平成14年度から実施
	課長クラス	平成14年度から実施
非管理職	課長代理	平成15年度から実施
	係長クラス	平成26年度から実施予定
	主任クラス	平成26年度から実施予定
	係員クラス	未実施

多発する不祥事の防止を

平成21年度	環境事業部	道路交通法「共同危険行為等の禁止」違反
平成22年度	健康部	万引き
平成22年度	市民病院	医師として患者の信頼を裏切る不適切な言動(セクハラ)
平成22年度	土木部	欠勤の繰り返し
平成23年度	健康部	セクシャル・パワーハラスメント
平成24年度	子ども青少年部	不適正な事務処理及び手当等の不正受給
平成24年度	環境事業部	公務外での人身交通事故及び事故報告怠り
平成24年度	水道部	カッターナイフ所持による軽犯罪法違反等
平成24年度	地域振興部	電車内置き引き
平成24年度	地域振興部	酒気帯び運転
平成25年度	子ども青少年部	幼児の頬をたたく
平成25年度	水道部	盗撮行為
平成25年度	土木部	酒気帯び運転

最近、職員による不祥事が多発しており、議会からも様々な提案がなされております。公務員としての倫理観や自覚の欠如、職場規律の低下が起きていることも考えられます。また、不祥事を起こす職員には、それまでの勤務態度や言動などに予兆が見られる場合もあろうかと思えます。組織や部下のマネジメントといった観点から、不祥事の防止策を提案しました。

■過去5年間の職員の不祥事の一覧(教育委員会を除く) ※平成25年11月時点